

大阪教育大学大学院
教育学研究科
2021



国立大学法人
大阪教育大学

新しい時代の教育改革を リードできる人材養成へ

大阪教育大学は、明治7年に設置された教員伝習所を起源とし、140年以上の歴史と伝統をもつとともに我が国有数の規模を誇る教育系大学です。昭和43年に開設され従来の大学院教育学研究科(修士課程)は、4つの専攻(国際文化専攻、総合基礎科学専攻、芸術文化専攻、健康科学専攻(夜間))のそれぞれの専門分野において、理論と応用の研究能力と、教育実践の場における教育研究の推進者としての能力を養成することを目的にして、教育界を含む様々な分野で活躍できる人材養成を行ってきました。

しかしながら21世紀に入り、世界は複雑化して新たな教育

問題が顕在化するとともに、ICT・AI革命が進みSociety5.0と呼ばれる時代が近づきつつあります。それに伴って、教育分野にも大きな変革が求められています。

このような新しい時代に求められる教育に対応するため、本学は令和3年4月より、大学院教育学研究科を大幅に改組することになりました。そこには、これまで培ってきた高度な専門性・研究能力の育成に加えて、新しい時代の社会とチーム学校で要求される、教育・学習支援の実践力・課題分析力を育成する「高度教育支援開発専攻」を設けています。この専攻の下に、教育領域に強い公認心理師を養成する「心理・

3つのポリシー

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

1. 基本理念・目標

大学院教育学研究科は、教育・学習支援の実践力と課題分析力を備え、自らが有する専門性と異分野の知見を組み合わせることで学校・家庭・地域の教育に最適化できる先導的手法を深く探求し、教育現場の課題解決・価値創造の一翼を担う高度な人材を養成することを目的としています。そのために、以下のようにアドミッション・ポリシーを定めます。

2. 求める学生像【高度教育支援開発専攻】

- 学校や地域が抱える教育課題の解決に強い関心を有する人
- 特定分野において専門性や優れた実務・実践経験を有し、これを活用して教育・学習支援に参画する意欲を有する人
- 教育現場の課題について実践的研究を行うことで、学校改革に向けて先導的・中核的な役割を担う意欲を有する人

(心理・教育支援コース)

- ① 学士課程において公認心理師国家試験受験資格に必要なすべての科目を修めており、修士課程において必要とされる科目を修める強い意志のある人
- ② 心理支援に関する高度な知識とスキルを身につけ、社会に貢献しようとする強い意欲を有する人
- ③ スクールカウンセラーや教育相談員等の専門職の立場から教育を支援する意欲を有する人

(国際協働教育コース)

- ① 学士課程で学んだ自身の専門研究分野に関して基礎的な知識と強い関心を有する人
- ② 各国・地域の日本型教育システムに関する実践研究に取り組み、その成果を教育現場に反映させ、教育課題の解決の一翼を担う意欲を有する人
- ③ 日本語教育支援に関する実践研究に取り組み、教育を通して多文化共生社

会の実現と持続に貢献しようとする意欲を有する人

- ④ 日本型教育システムや日本語教育支援についての研究成果を国際的に発信するためのコミュニケーション能力・語学力を有する人

(教育ファシリテーションコース)

- ① 学校や地域が抱える教育課題の解決に強い関心を有する人
- ② 以下のいずれかの専門性や優れた実務・実践経験を有し、これを活用して新時代の学校改革や教育現場の課題解決の一翼を担う意欲を有する人
 - AI・ICT等の先端技術、または、教育行政等に関する領域
 - 社会教育や福祉、または、美術や音楽などの芸術活動に関する領域
 - 医療や保健、スポーツなどの健康・安全に関する領域

3. 入学者選抜の基本方針

基本理念・目標等にふさわしい学生を受け入れるために、次の大学院入学者選抜を実施します。

(一般選抜)

本選抜では、外国語科目と専門科目によって、大学院で学ぶために必要な外国語能力、読解力、思考力、文章表現力、専門的知識を有しているかを評価します(教育ファシリテーションコースでは、専門科目によって、大学院で学ぶために必要な読解力、思考力、文章表現力、専門的知識・技能を有しているかを評価します)。また、口述試験、研究計画書及び成績証明書によって、専門分野の研究を遂行するために必要な専門的知識、大学院で学ぶ動機、意欲、主体性を有しているかを評価します。なお、研究計画書は、自らが身に付けるべき資質・能力を明確にし、教育全体の課題と関連付けた具体的な研究計画を特に評価します。

(外国人留学生等選抜)

国際協働教育コースでは、外国人留学生を広く受け入れるために、外国人留学生等選抜を実施します。

教育支援コース」、留学生を受け入れてグローバルなフィールドで他者と協働できる人材養成を目指す「国際協働教育コース」、社会人対象で、知識・技能を他者の知見と組み合わせる教育現場の最適化に資する能力を養成する「教育ファシリテーションコース」の3つのコースを設けています。

私たちは、新しい時代の多様なニーズに対応し、社会や地域に広く貢献するため、主体的に学び、高い研究力・技能を持ち、これからの自らの人生を前向きに切り拓いていこうとする方々の入学をお待ちしております。



教育学研究科主任
辻岡 強

Index

01	3つのポリシー
03	教育学研究科の概要
04	カリキュラム コース紹介
05	心理・教育支援コース
06	国際協働教育コース
07	教育ファシリテーションコース
09	担当教員一覧
11	入試情報
12	学費・奨学金
13	アクセス

本選抜では、専門科目によって、大学院で学ぶために必要な日本語能力、読解力、思考力、文章表現力、専門的知識を有しているかを評価します。また、口述試験、研究計画書及び成績証明書によって、専門分野の研究を遂行するために必要な日本語能力、専門的知識、大学院で学ぶ動機、意欲、主体性を有しているかを評価します。なお、研究計画書は、自らが身に付けるべき資質・能力を明確にし、教育全体の課題と関連付けた具体的な研究計画を特に評価します。

4. 入学前に学習しておくことが期待される内容

(学部卒学生等)

- 大学卒業レベルと同等の基礎学力
- 専門分野に関する基本的な知識・技能

(社会人等)

- 教育現場や地域が抱える教育課題への強い関心と理解
- 専門分野に関する知識・技能・実践経験

(外国人留学生等)

- 大学卒業レベルと同等の基礎学力
- 母国における教育課題の理解
- 専門分野を学ぶための日本語能力

ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

所定の単位を修得し、教育現場における課題の「発見・理解力」と「分析力」、教育課題解決の企画力、特定の分野における深化した専門的知識・技能、人や組織間をつなぐ高度なコーディネート力を有する者で、学位論文審査及び最終試験に合格した者に学位を授与します。

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

「教育現場における課題の『発見・理解力』と『分析力』」、「教育課題解決の企画力」、「特定の分野における深化した各領域の知識・技能」及び「人や組織間をつなぐ高度なコーディネート力」を統合的に身に付けることを目的として、カリキュラムは以下のとおり編成し、実施します。

- ① 「教育現場における課題の『発見・理解力』と『分析力』」を有する専門的人材として備えるべき基盤的素養を修得することを目的として「専攻共通科目」を設定します。
 - ② 自らの思考の軸となる専門分野の「教育現場における課題の『発見・理解力』と『分析力』」を修得し、これを基盤に「教育課題解決の企画力」までつなげることができる力量を育成することを目的として「コース共通科目」を設定します。
 - ③ 「特定の分野における深化した各領域の知識・技能」を育成するために、自らの思考の軸となる専門領域の知識・技能を基盤として、理論と実践を往還して分析省察するための技能を修得することを目的とし「コース・領域専門科目」を設定します。
 - ④ 「教育課題解決の企画力」を基盤とし、「人や組織間をつなぐ高度なコーディネート力」を育成することを目的として、心理・教育支援コース及び国際協働教育コースにおいては「フィールド研究科目」、教育ファシリテーションコースにおいては「プロジェクトベース科目」を設定します。
 - ⑤ ①～④を通じて、自らの教育・学習支援実践における課題を設定し、専攻共通科目、コース共通科目、コース・領域専門科目、フィールド研究科目、プロジェクトベース科目での学びと関連させながら学術的に考察し、修士論文に結実させることを目的として「課題研究科目」を設定します。
- ①～⑤の実施については、主体的・対話的で深い学びを提供します。具体的には、講義に加えて、グループワーク、発表、討論等の活動を取り入れます。
- ①～④の成績評価については、試験・レポートのほか、グループワーク、発表、討論等の活動も重視します。
- ⑤の成績評価については、調査・計画・実施・評価及び改善のサイクルを繰り返すこと、それらの過程における同僚等とのコミュニケーションや協働を重視します。

概要

本研究科は、全ての院生が教育・学習支援の実践力と課題分析力を身に付けられるよう教育課程を編成し、教員以外の立場から教育現場の課題解決・価値創造の一翼を担う高度な人材を養成します。なお、**教員免許状一種免許状を取得している者で、本修士課程を修了しても、専修免許状を取得することはできません。**

専攻	コース	領域	主な修学キャンパス	募集人員(目安)
高度教育支援開発専攻	心理・教育支援コース	—	学部卒学生等 柏原キャンパス (昼間開講)	10名
	国際協働教育コース	日本型教育システム開発領域	留学生等 (及び学部卒学生等) 柏原キャンパス (昼間開講)	20名
		日本語教育支援高度化領域		
	教育ファシリテーションコース	教育イノベーション開発領域	社会人等 (及び学部卒学生等) 天王寺キャンパス (平日夜間・土曜開講)	20名
		地域教育・芸術支援人材高度化領域		
		健康・安全教育高度化領域		

授業の時間帯は、柏原キャンパス開講コースは1～5時限、天王寺キャンパス開講コースは6～7時限が原則です。
(ただし、土曜日開講授業・集中講義についてはこの限りではありません。)

1時限 / 8:50～10:20	2時限 / 10:35～12:05	3時限 / 12:55～10:20	4時限 / 14:40～16:10
5時限 / 16:25～17:55	6時限 / 18:00～19:30	7時限 / 19:40～21:10	

特色

- 「教育・学習支援の実践力」と「課題分析力」の基盤的な力を身に付けます。**

超スマート社会の到来に伴い、教育を取り巻く環境も大きく変わる中、ICT、教育データ等の先端技術や教育・学習の実践的手法の両方を基盤的な力として身に付けるための授業を必修科目として開講します。
- 特定の領域での高度な専門性を身に付けます。**

特定の領域における高度な専門的知識・技能を身に付けることに加え、これを活用して教育・学習支援を深く探究するための実践力・研究力を修得するための学びを展開します。
- 実践的な教育研究手法を身に付けます。**

大学院修了後も様々な課題に直面した際に、主体的に分析、考察、解決ができるよう、調査・分析手法、論文作成手法など、汎用的な研究能力を身に付けます。
- 多職種協働による課題探究型研究・教育を展開します。**

教育ファシリテーションコースにおいては、教育現場、企業、行政、地域から、多様なバックグラウンドを有する社会人が一堂に集まり、多職種協働による教育現場の課題解決に資する研究・教育を展開するため、「プロジェクトベース科目」を開講します。

カリキュラム

コース	修了要件単位数						
	専攻 共通科目	コース 共通科目	コース・領域 専門科目	フィールド 研究科目	プロジェクト ベース科目	課題研究 科目	計
心理・教育支援 コース	6	—	17	3	—	4	30※
国際協働教育 コース	6	4	16	4	—	4	34
教育ファシリテーション コース	6	4	12	—	4	4	30

※公認心理師受験資格の取得に必要な単位数は43単位となります。

●本専攻におけるカリキュラムは次の科目から構成されています。

[専攻共通科目]	教育現場の高度化を担うために必要となる基盤的な力を身につけるため、必修科目として設けます。
[コース共通科目]	国際協働教育コースと教育ファシリテーションコースの各コースの院生が共通に履修する科目として設けます。
[コース・領域専門科目]	特定の領域での高度な専門性に加え、これを活用して教育・学習支援を深く探究できる知識や技能を身につける科目として設けます。
[フィールド研究科目]	心理・教育支援コース、国際協働教育コースにおいて、現場での実習を積み重ね、直面する課題を理解し解決できる実践力を身につける科目として設けます。
[プロジェクトベース科目]	教育ファシリテーションコースにおいて、多様なバックグラウンドを有する人材が一堂に集まり、カンファレンス、グループワーク等を通じて、実際の教育現場に即した課題探究型の学びを展開するため、プロジェクトベース科目を設けます。また、これら学びの成果を教育現場への実践につなげることを目的とします。
[課題研究科目]	上記科目における学びと関連させながら学術的に考察し、修士論文としてまとめあげることを目的として、設けます。
[取得できる学位]	修士(教育学)となります。

心理・教育支援コース

- 教育領域に強い公認心理師を養成します。
- 「教育領域に強い公認心理師」として心理支援の立場から教育課題を実践的に解決できる能力を養成します。

特徴

- 教員養成大学としての強みを生かしながら、国家資格である公認心理師の受験資格*の取得をめざします。
- 「チーム学校」や教育・学習支援に必要とする知識・技能を身に付け、実践的に支援できる力を育成します。
- 「心理支援に関する理論と実践」、「心理実践実習」、「公認心理師と教師の協働的援助」などの科目を開講します。

※本学大学院で、所定の43単位を取得し、修了することで受験資格を得ることができます。
ただし、大学院に入学する前に4年制大学において法令で定められた科目をすべて履修していることが条件となります。
条件を満たすかどうかは、ご自身の所属又は卒業大学にご確認ください。

想定される 入学者

- 公認心理師国家試験受験資格の取得をめざす人
- 心理支援に関する高度な知識とスキルを身につけ、社会に貢献しようとする強い意欲を有する人
- スクールカウンセラーや教育相談員等の専門職の立場から教育を支援する意欲を有する人

大学院 修了後の 輩出先

スクールカウンセラーなど教育機関に勤務する心理職、子どもや家族に関わる施設等に勤務する心理職、
その他公認心理師として医療・福祉・産業・司法の分野における心理支援に携わる専門職など



国際協働教育コース

- 主として留学生を受け入れ、国境や異文化間を越えてグローバルなフィールドで他者と協働しながら活躍できる教育・学習支援人材を養成します。
- 「日本型教育システム開発領域」と「日本語教育支援高度化領域」の2領域を設けます。
- コース共通科目として、「国際関係論」、「国際比較文化論」等を開講します。

日本型教育システム開発領域

理系科目を中心に日本型教育の特性を理解し、新たな教育モデルを創造し実践できる人材を養成します。

特徴

- 日本型教育と各国・地域の教育を比較して、新たな教育モデルを創造し実践できる資質・能力を育成します。
- 理系科目を中心とした高度な教育スキルを身に付けます。
- 日本型教育システムを国際的な視野から深く理解する力を身に付けます。
- 理数科教育の「日本型教材の開発と授業デザイン」、数理科学、情報科学、自然科学の分野における「教育特論」及び「教育特論演習」などの科目を開講します。

想定される 入学者

- 各国・地域の日本型教育システムに関する実践研究に取り組み、その成果を教育現場に反映させ、各地の教育課題の解決の一翼を担う意欲を有する人
- 学士課程で学んだ自身の専門研究分野に関して基礎的な知識と強い関心を有する人
- 日本型教育システムについての研究成果を国際的に発信するためのコミュニケーション能力・語学力を有する人

大学院 修了後の 輩出先

教育に関する国際機関、教育行政機関、日本への留学をめざす児童生徒を育てる教育機関、外国にルーツのある児童生徒が在籍する教育機関、理系の教材に関わる企業など

日本語教育支援高度化領域

国内外の日本語教育に必要な専門的知識と実践的教育力を養成します。

特徴

- 外国語として日本語を教えるために必要な日本語・日本文化に対する専門的知識と実践的な教育方法を学びます。
- 母語・母文化と日本語・日本文化を比較分析できる力を身に付け、国内外の日本語教育の現場に対応可能な実践力を育成します。
- 日本語を教える高度なスキル、教育方法や教材開発力を身に付けます。
- 専門科目として、「日本語教育理解高度化科目」、「対照言語学理解高度化科目」、「教科理解高度化科目」及び「多文化理解高度化プログラム」の4つの科目群を構成しています。

想定される 入学者

- 日本語教育支援に関する実践研究に取り組み、教育を通して多文化共生社会の実現と持続に貢献しようとする意欲を有する人
- 学士課程で学んだ自身の専門研究分野に関して基礎的な知識と強い関心を有する人
- 日本語教育支援についての研究成果を国際的に発信するためのコミュニケーション能力・語学力を有する人

大学院 修了後の 輩出先

日本語教育機関、日本語教師養成機関、教育に関わる国際教育機関、教育行政機関・学校現場、日本語教育教材に関わる企業など

教育ファシリテーションコース

- 主として社会人を受け入れ、自らの知識・技能、経験を他者の知見と組み合わせ、教育現場の最適化に資する実践知を生み出す能力を養成します。
- 「教育イノベーション開発領域」、「地域教育・芸術支援人材高度化領域」及び「健康・安全教育高度化領域」の3領域を設けます。
- 必修科目として、「社会に開かれた教育課程の実践研究」、「学習支援特論」、「プロジェクト演習」を開講します。

教育イノベーション開発領域

AI、ICT等先端技術を活用し、教育課題を解決に導くことのできる人材を養成します。

特徴

- 今日的な教育現場の動向やニーズを理解し、自らが有する知識・技能、経験と異分野の知見の組み合わせによる協働的、実践的な学びを展開します。
- 先端技術を自在に駆使し、教育に関するデータを集積・分析しながら、各種教育課題に対して最適な解決策を提示するための知識・技能を身に付けます。
- 「教育ポートフォリオとデータ」、「人工知能概論」、「先端技術の教育展開と教育データ分析演習」などの科目を開講します。

想定される入学者

- 学校や地域が抱える課題の解決に強い関心を有する人
- AI、ICT等の先端技術、または、教育行政等に関して優れた実務・実践経験を有し、それぞれの経験を活かすとともに、先端技術と教育の融合を目指すことで新時代の学校改革や教育現場の課題解決の一翼を担う意欲を有する人

大学院修了後の輩出先

先端技術分野の企業、教育委員会行政職など、専門的知識・技能、経験を生かして、教育現場の高度化に貢献する人材を中心に輩出することを想定しています。

地域教育・芸術支援人材高度化領域

学校と地域との連携・協働を担える人材や、音楽や美術の技術や感性を教育分野に生かすことができる人材を養成します。

特徴

- 地域学校協働に関する理論的・実践的探求を通じて、教育課題を解決するための知識・技能を身に付けます。
- 芸術表現に関する専門性を生かして、教材開発能力や事業企画力など教育現場に参画するための知識・技能を身に付けます。
- 「地域教育とキャリア形成」、「地域教育実践演習」、芸術分野における「地域教育支援研究」などの科目を開講します。

想定される入学者

- 学校や地域が抱える課題の解決に強い関心を有する人
- 社会教育や福祉、美術や音楽などの芸術活動に関して優れた実務・実践経験を有し、これを活用して新時代の学校改革や教育現場の課題解決の一翼を担う意欲を有する人

大学院修了後の輩出先

社会教育関係者、社会福祉士、民間教育事業者、芸術家、演奏家、教育や文化振興に関連する団体の職員など、専門的知識・技能、経験を生かして、教育現場の高度化に貢献する人材を中心に輩出することを想定しています。

健康・安全教育高度化領域

学校・家庭・地域の健康・安全の向上を担える人材やスポーツ実践の課題を解決できる人材を養成します。

特徴

- 医療や保健、スポーツ、学校安全などの健康・安全分野に関する理論的・実践的探求を通じて、教育課題を解決するための知識・技能を身に付けます。
- 多職種との協働による考察を通じて、健康・安全教育の課題解決に資する授業の企画や運営手法、教材開発手法など実務的な技能を身に付けます。
- 児童生徒にスポーツの楽しさ、健康・安全な生活を気づかせ、豊かな人間性・社会性を育むことができる人材を養成します。
- 健康科学、生活環境学、安全教育学、スポーツ実践の分野に関する「地域・学校における教育の理論と方法」、同分野に関する「課題解決のための実践研究」などの科目を開講します。

想定される 入学者

- 健康・安全分野に関して学校や地域が抱える課題の解決に強い関心を有する人
- 医療や保健、スポーツなど健康・安全分野に関して優れた実務・実践経験を有し、これを活用して新時代の学校改革や教育現場の課題解決の一翼を担う意欲を有する人

大学院 修了後の 輩出先

看護師、理学療法士、保健師、管理栄養士など医療・保健、健康関係の専門職や、アスリート、スポーツ指導者など、専門的知識・技能、経験を生かして、教育現場の高度化に貢献する人材を中心に輩出することを想定しています。



教育学研究科担当教員名簿

コース名	領域名	所属教員氏名	研究分野
心理・教育支援 コース	—	石橋 正浩	臨床心理学、発達人間学
		岩切 昌宏	精神神経科学
		下村 陽一	社会心理学、臨床心理学
		寺坂 明子	臨床心理学、学校心理学
		山口 正寛	臨床心理学、発達心理学
国際協働教育 コース	日本型教育 システム開発領域	乾 陽子	生態・環境
		鶴澤 武俊	機能生物化学
		川越 毅	ナノ構造科学、薄膜・表面界面物性、物性II
		喜綿 洋人	統計力学、機械学習
		串田 一雅	応用物性・結晶工学、科学教育
		久保埜 公二	分析化学、機能物性化学、無機化学
		小西 啓之	大気科学、雪氷学
		鈴木 剛	育種学、遺伝・ゲノム動態
		谷 敬太	有機化学、機能物質化学
		辻岡 強	機能材料・デバイス、応用物理
		平木 彰	代数的組合せ論
		堀 一繁	有機化学、機能物性化学
		堀 真子	地球宇宙化学
		町頭 義朗	幾何学
	日本語教育支援 高度化領域	赤木 登代	ドイツ語圏の文学・文化史、ドイツ女性史
		井上 直子	フランス文学、フランス思想
		石橋 紀俊	日本近代文学、日本現代文学
		小野 恭靖	日本古典文学、日本歌謡史・芸能史・演劇史
		亀井 一	独文学
		Ginsburg Jason Robert	言語学理論、統語論、コンピュータ言語学
		櫛引 祐希子	日本語学、日本語教育学
		佐藤 一好	中国近世思想、中国寓言文学
		卜田 隆嗣	文化人類学、美学・芸術諸学
		高山 新	財政学
		滝 一郎	思想史
		中野 知洋	各国文学・文学論
		Brown Robert Sanborn	英語学
馬 暁華	国際関係史、アメリカ政治外交		
松本 マスミ	言語学、英語学、言語学の外国語教育への応用		
渡邊 昭子	西洋史		

コース名	領域名	所属教員氏名	研究分野
教育ファシリテーション コース	教育イノベーション 開発領域	芦野 隆一	ウェーブレット解析
		藤田 修	数理情報学、知能情報学、ソフトコンピューティング
		望月 久稔	知能情報学、情報学基礎理論
		森岡 達史	偏微分方程式
		守本 晃	ウェーブレット解析、ウェーブレットを用いた信号処理
	地域教育・ 芸術支援人材 高度化領域	安達 智子	教育心理学、キャリア形成、社会心理学
		新崎 国広	ソーシャルワーク・福祉教育、教育支援協働学
		稲垣 琢磨	バイオリン演奏法
		江藤 亮	ヴィジュアルデザイン、映像表現
		岡本 麻子	ピアノ演奏法
		北川 文雄	作曲
		神代 修	器楽（トランペット）、管弦楽、吹奏楽
		五明 真	立体造形
		高鞆 裕樹	図書館情報学、図書館の自由
		玉井 裕子	声楽、声楽指導法
		出相 泰裕	生涯学習論、社会人学生論、大学開放論
		寺島 みどり	絵画
		中務 晴之	器楽（フルート）、管弦楽
	山畑 誠	音楽（ピアノ）	
	健康・安全教育 高度化領域	生田 泰志	コーチング学、バイオメカニクス
		碓田 智子	住生活学、住まいと生活環境、住教育、まちづくり
		榎木 泰介	運動生理・生化学、応用健康科学
		後藤 健介	自然災害科学、安全情報学、環境医学
		千住 真智子	身体教育学、舞踊学
		豊沢 純子	安全行動学、社会心理学
		永井 由美子	生理人類学、環境生理学、衛生学・公衆衛生学
		西川 章江	食生活学、食物学、食品学、食と生活科学
		藤田 大輔	安全教育学、学校安全
		松本 鉄也	内科学一般（心身医学含む）
		吉田 雅行	コーチング学

詳細について知りたい方は、
教員総覧をご参照ください



入試情報



募集人員

コース名	選抜区分	募集人員(目安)
心理・教育支援コース	一般選抜	10人
国際協働教育コース	一般選抜	8人
	外国人留学生等選抜	12人
教育ファシリテーションコース	一般選抜	20人
合 計		50人

入学者選抜方法

■ 一般選抜

外国語科目、専門科目、口述試験、研究計画書及び成績証明書を総合して行います。

ただし、教育ファシリテーションコースについては、専門科目、口述試験、研究計画書及び成績証明書を総合して行います。

■ 外国人留学生等選抜

専門科目、口述試験、研究計画書及び成績証明書を総合して行います。

※選抜方法の詳細は学生募集要項を確認してください。

入試スケジュール

■ 入試日程等

	出願期間	入試日	合格発表
1次募集	令和2年10月 2日(金)～令和2年10月 7日(水)	令和2年10月25日(日)	令和2年10月30日(金)
2次募集	令和2年11月 6日(金)～令和2年11月11日(水)	令和2年11月29日(日)	令和2年12月 4日(金)
3次募集	令和2年12月24日(木)～令和3年 1月 7日(木)	令和3年 2月 7日(日)	令和3年 2月15日(月)

※志願状況により、4次募集(入学試験実施日:令和3年3月6日(土))を実施する場合があります。

学費・奨学金

入学科・授業料

令和2年度入学	入学科	授業料(年額)
大学院	282,000円	535,800円
大学院(長期履修学生制度の適用者)	282,000円	357,200円

上記金額は、令和2年度入学者の金額であり、令和3年度入学者については、変更される場合があります。

長期履修学生制度

標準修業年限(2年)で修了することが困難な方を対象に、修業年限を延長することにより計画的に教育課程を履修することができ、かつ、その間の授業料の年額の負担を軽減することができます。

長期履修学生としての申請に基づき審査を行い、許可された場合修業年限を3年とします。修学状況等の変動により、標準修業年限への短縮や、入学後(在学中)の長期履修の申請も可能ですが、この場合、1年次の所定期日までに申請を行い、翌年度からの適用となります。

なお、本制度が適用された方は、留学など長期にわたって本学大学院を離れた場所での修学ができない場合があります。

〈申請資格〉

申請資格を有する方は、次のいずれかに該当する方です。

- ① 職業を有する方
- ② 育児、介護等の事情を有する方
- ③ その他研究科長が認めた方

〈授業料(年額)〉

$$\text{大学が定めた授業料年額} \times \text{標準修業年限(2年)} \div \text{最長履修期間(3年)}$$

授業料等免除制度

一般選考

経済的理由により入学科・授業料の納付が困難であり、かつ、成績優秀と認められる方を対象に選考のうえ、入学科・授業料の全額または半額が免除あるいは徴収が猶予されます。

特別入学科免除

本学大学院へ入学する方のうち、公立学校教員採用試験に合格し、かつ教育委員会から採用猶予等を許可された方を対象に選考のうえ、入学科の全額又は半額が免除あるいは徴収が猶予されます。

大学院における特別授業料免除

本学大学院に在学中で、学業成績等が優秀であると認められる方を対象に選考のうえ、授業料の半額が免除あるいは徴収が猶予されます。

奨学金制度

学業成績が優秀で、経済的理由により学資の支弁が困難の方には《日本学生支援機構奨学金》または《一般奨学金》の制度があります。一般奨学金には、大きく分けて地方公共団体の奨学金と民間育英団体の奨学金とがあります。

(参考) 令和2年度入学者 日本学生支援機構奨学金の貸与月額例

奨学金の種類	貸与月額
第一種奨学金(無利子)	50,000円・88,000円のいずれかより選択
第二種奨学金(有利子)	50,000円・80,000円・100,000円・130,000円・150,000円のいずれかより選択

上記金額は、令和2年度入学者の金額であり、令和3年度入学者については、変更される可能性があります。

柏原キャンパス

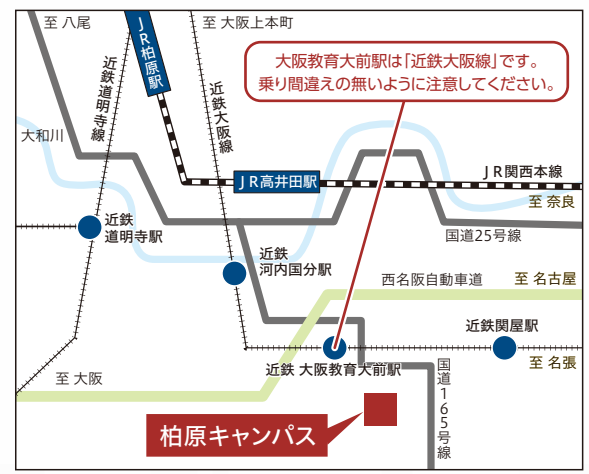
※下図では乗り換えに要する時間は記載していません。

新大阪	4分	JR大阪	16分	鶴橋	約15分 徒歩(約1km) 大教大名物のエスカレーターがあります。	大阪教育大前		
三ノ宮	24分	JR大阪	16分					
神戸三宮	48分							
JR京都	28分	JR大阪	16分					
丹波橋	33分	京橋	7分				河内国分	1分
大阪難波	5分							
岸和田	28分	新今宮	8分					
関西空港(鉄道)	33分	天王寺	8分					
和歌山	75分	天王寺	8分					
JR奈良	16分	王寺	12分				柏原	約7分
大和西大寺	22分			近鉄大和八木	約5分 徒歩(550m)	大阪教育大前		
近鉄名古屋	116分						五位堂	10分
津	14分	伊勢中川	73分					

意外と近いかも!
キャンパスまでのルートを最寄りの駅から調べてください。

大阪上本町駅から
大阪教育大前駅まで近鉄電車で**23分**

JR大阪環状線鶴橋駅から
大阪教育大前駅までなら**19分**



天王寺キャンパス

※下図では乗り換えに要する時間は記載していません。

大阪教育大前	1分	河内国分	17分	鶴橋	4分	寺田町		
大阪					20分			
京橋					12分	天王寺		
JR奈良					35分			
神戸三宮					31分		西九条	16分

大阪市内中心地 天王寺駅から約600m (寺田町駅から350m)





国立大学法人

大阪教育大学

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/>

学務部入試課

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1
TEL 072-978-3323